

平成28年度決算の概況

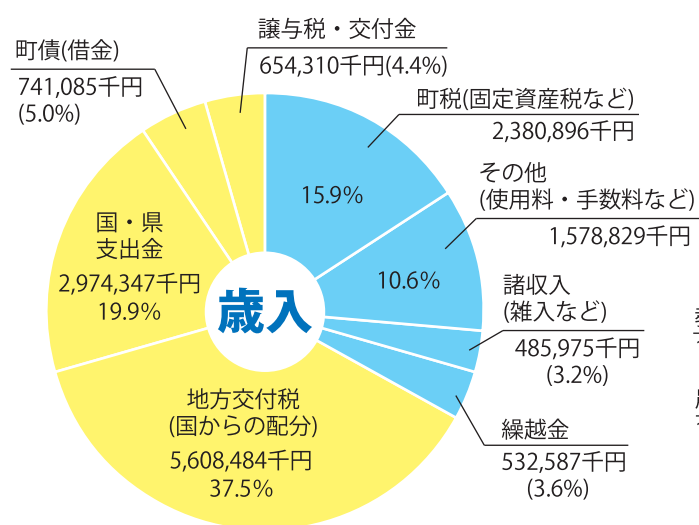
一般会計歳出総額 **134億9,384万7千円**

町民1人あたりに使ったお金 **60万7千円**
※平成29年1月1日現在の住基人口により算出した額

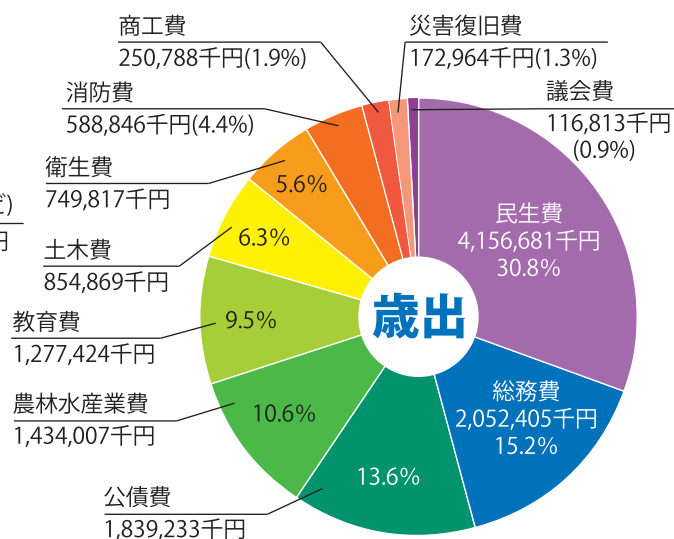
決算状況

区 分		歳入（収入）総額	歳出（支出）総額	差引額
一般会計		149億5,651万3千円	134億9,384万7千円	14億6,266万6千円
特別会計	国民健康保険事業	41億3,940万2千円	38億5,247万6千円	2億8,692万6千円
	後期高齢者医療	3億2,790万9千円	3億2,505万1千円	285万8千円
	介護保険事業	33億1,981万3千円	31億4,780万1千円	1億7,201万2千円
	農業集落排水事業	5,295万1千円	4,953万3千円	341万8千円

一般会計歳入・歳出の費目別割合（構成比は四捨五入の関係で必ずしも100%になりません）

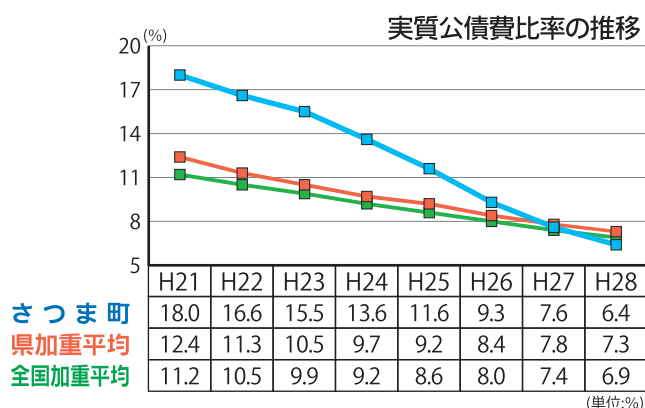


歳入149億5,651万3千円を費目別にみると、町税などの自主財源が33.3%（49億7,828万7千円）、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が66.7%（99億7,822万6千円）となっています。



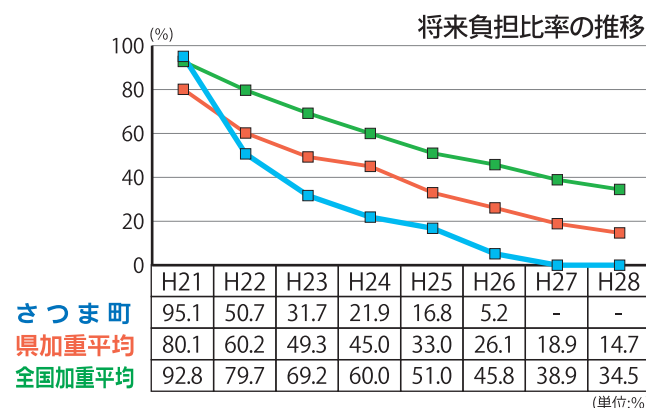
歳出134億9,384万7千円では、高齢者や児童などへの福祉関係経費である民生費が30.8%（41億5,668万1千円）と最も高く、次いで税務や戸籍などへの経費である総務費が15.2%（20億5,240万5千円）となっています。

健全化判断比率等



・**実質公債費比率とは**…地方債など（借入金）の返済額が町税や交付税などの標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを指標化し、3か年分を平均したもの。

平成27年度決算と比較して
1.2%改善しました



・**将来負担比率とは**…借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの割合が、町税や交付税などの標準的な収入に対してどれくらいの割合になるのかを指標化したもの。積立金が増加し借金が減り、充当可能財源などが将来負担額を上回ったため、平成27年度に続きマイナス数値（－）となりました。